

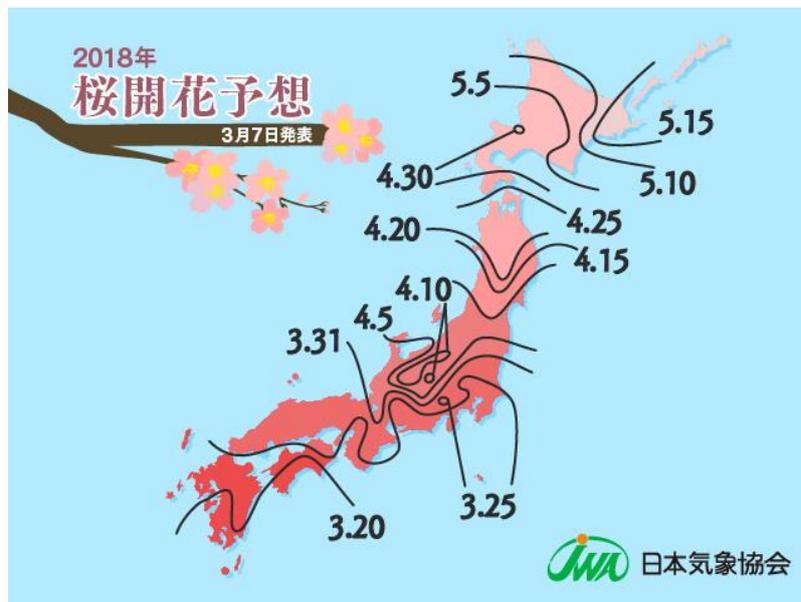
## 2018年桜開花予想(第3回)

### ～全国的に開花・満開とも平年より早い！桜前線のスタートは高知県から～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、会長：石川 裕己、以下「日本気象協会」）は、日本全国92地点の桜（標本木 [ソメイヨシノほか] 53地点、自治体・公園など36地点、および日本三大桜3地点）の開花予想日（第3回）を2018年3月7日（水）に発表します。なお、今回の発表からは予想満開日も発表します。

- ◆開花が最も早いのは、高知県宿毛で3月17日！
- ◆満開のトップは、高知と愛媛県宇和島で3月26日！
- ◆3月は全国的に気温が平年より高く、桜の開花・満開とも平年より早い

#### ■2018年桜開花予想前線図



#### ■開花と満開の傾向

2018年の桜の予想開花日は、前回予想（2月21日発表）より早まり、全国的に平年より3日程度早い見込みです。

桜前線は3月17日に高知県宿毛からスタートし、19日に高知、20日には鹿児島、熊本、宮崎で開花するでしょう。3月末までに九州から関東で開花する予想です。4月上旬には北陸や長野県、東西南部で開花し、4月中旬以降には東北北部でも開花するでしょう。桜前線は4月末には津軽海峡を渡り、函館や札幌でも大型連休前半には開花する見込みです。

この冬（12月～2月）は、全国的に気温が平年より低く、特に西日本では平年との差が大きくなりました。しかし、3月は一転し、1日に近畿と関東で、5日に九州南部・奄美地方で春一番が吹くなど、気温が平年より高い日が多くなっています。

この先3月末にかけて、気温は北日本を中心に全国的に平年より高い日が多くなる見込みです。2月までの低温で休眠打破（※）が順調に進んだと見込まれる上、気温予想が高温傾向に変わったことから、多くの地点で前回予想より予想開花日が3日前後早まりました。

満開日は、開花日のおよそ1週間後になる予想で、全国的に平年より3日から6日早く、九州では平年より1週間も早いところがあるでしょう。予想満開日が最も早いのは高知と愛媛県宇和島の3月26日で、3月末までに九州から関東南部にかけて満開になるところが多い見込みです。



## ■日本気象協会 長期予報（気温）

気温	3月	4月	5月	～桜開花予想チームのコメント～
北日本	高い	平年並か高い	平年並か高い	3月は北日本を中心に全国的に気温が平年より高い見込みです。西日本と東日本は、4月は平年並みの予想で、北日本では4月、5月とも平年並みか高いでしょう。
東日本	高い	平年並	---	
西日本	高い	平年並	---	

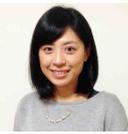
※休眠打破：前年の夏に形成され休眠に入った花芽が、冬になり一定期間の低温にさらされて目覚めること

## ■2018年 桜の予想開花日・満開日（主な地点）

	地点	予想開花日	平年開花日	昨年開花日 (2017年)	予想満開日	平年満開日	昨年満開日 (2017年)
福岡県	福岡市	3月23日	3月23日	3月25日	3月30日	4月1日	4月5日
香川県	高松市	3月26日	3月28日	4月2日	4月1日	4月5日	4月8日
広島県	広島市	3月26日	3月27日	3月27日	4月3日	4月4日	4月7日
大阪府	大阪市	3月25日	3月28日	3月30日	4月1日	4月5日	4月6日
愛知県	名古屋市	3月22日	3月26日	3月28日	3月31日	4月3日	4月6日
東京都	千代田区	3月22日	3月26日	3月21日	3月29日	4月3日	4月2日
長野県	長野市	4月8日	4月13日	4月14日	4月14日	4月17日	4月17日
富山県	富山市	4月2日	4月5日	4月5日	4月6日	4月10日	4月8日
新潟県	新潟市	4月7日	4月9日	4月8日	4月11日	4月14日	4月13日
宮城県	仙台市	4月8日	4月11日	4月7日	4月14日	4月16日	4月13日
北海道	札幌市	4月30日	5月3日	4月28日	5月4日	5月7日	5月3日

全92地点の桜（標本木〔ソメイヨシノほか〕53地点、自治体・公園など36地点、日本三大桜3地点）の予想開花日・予想満開日は、日本気象協会が運営する天気予報専門メディア『tenki.jp（てんきじえーびー）』桜の開花予想ページ（<https://tenki.jp/sakura/expectation/>）にて公開しています。

## ■各地の気象予報士コメント

	日本気象協会 九州支社（松井 渉） 九州は南部を中心に平年より早く、3月20日から23日ごろに桜が開花する見込みです。そして、3月の末には各地で満開の桜を楽しめそうです。昨年は開花や満開がかなり遅いところが多かったのですが、今年は順調に桜が咲いていきそうですので、お花見の準備はお早めに。
	日本気象協会 四国支店（川越 絵里子） この冬の厳しい寒さにさらされた桜の花芽は、今後は気温の上昇に敏感に反応し、平年並みか平年よりも早くに開花しそうです。桜前線は全国トップを切って高知県からスタートし、3月下旬には続々と各地から桜の開花の便りが届くでしょう。
	日本気象協会 中国支店（筒井 幸雄） 厳しい寒さを乗り越え、降り注ぐ日差しに春の到来を感じるようになりました。この先は、冬のような寒さに逆戻りする日もありますが、春の暖かさが花芽の成長を促しますので、桜の開花は平年よりやや早くなるでしょう。
	日本気象協会 関西支社（真田 知世） 少しずつ日脚が伸び、桜の花芽に春の日差しが多く降り注ぐようになってきました。ここ数日は気温も高く、適度な降水もあって、花芽の生長が順調に進んでいると思われます。この先は強い寒の戻りもない見込みで、前回の予想より3日前後開花が早まりそうです。見頃は新年度早々になるでしょう。



	<p>日本気象協会 中部支社 (菅野 彰太)</p> <p>先日、東海地方では春一番が観測され、春の陽気になる日も増えてきました。この先も平年より高い気温になる日が多く、力強い日差しが桜のつぼみの生長を促してくれそうです。飛騨高山周辺も、平野部より遅れるものの平年より少し早い開花になるでしょう。</p>
	<p>日本気象協会 本社 (秋田 純佳)</p> <p>関東地方は寒の戻りとなっていますが、週末からは再び暖かい日が戻ってきそうです。桜は平年より早い開花と満開になるところが多いでしょう。東京は3月22日に開花し、29日に満開を迎える見込みです。3月最後の週末はお花見を計画してはいかがでしょうか。</p>
	<p>日本気象協会 長野支店 (瀧中 弘樹)</p> <p>この冬の寒さで、県内の桜も十分に休眠した様子です。その分、目覚めは平年より早く、3月中に南部で咲き始め、入学式の頃には北部でも開花する見込みです。</p>
	<p>日本気象協会 北陸支店 (瀬山 滋)</p> <p>3月1日には富山湾に春を告げるホタルイカ漁が解禁されました。この冬の北陸地方は、例年以上に寒さが厳しく、本格的な春の訪れが待ち遠しいです。この先の気温は平年より高い日が多く、桜のつぼみの成長は順調に進み、開花は平年並みか平年より早くなるでしょう。</p>
	<p>日本気象協会 新潟支店 (今井 梢)</p> <p>冬の寒さで休眠打破は順調に進みましたが、雪や強風で桜の枝折れ等がやや多く心配です。まだつぼみは固いですが、このところの暖かさで少しだけ膨らみ始めています。3月は暖かさが戻り、開花は平年よりもやや早まりそうです。</p>
	<p>日本気象協会 東北支社 (佐藤 理恵子)</p> <p>先週末は、日中の最高気温は平年より大幅に高く、東南北部では20度を超えるところもありました。向こう一ヶ月の気温も平年より高い日が多くなる予想です。特に、暖かい空気が入りやすい南部や沿岸では、桜の花芽の生長が早まりそうです。</p>
	<p>日本気象協会 北海道支社 (持田 浩)</p> <p>この冬の北海道は記録的な積雪となったところがあり、3月に入っても暴風雪に見舞われる日がありました。しかし今後、季節の歩みは順調に進みそうです。桜前線は4月の終わりには北海道に上陸し、その後の各地の開花は平年並みか平年より少し早めとなるでしょう。</p>

日本気象協会では日本全国89地点の桜(ソメイヨシノほか)の開花予想以外にも、「日本三大桜」と呼ばれている福島県の「三春滝桜」(みはるたきざくら:ベニシダレザクラ)、山梨県の「山高神代桜」(やまたかじんだいさくら:エドヒガンザクラ)、岐阜県の「根尾谷 淡墨桜」(ねおだに うすずみざくら:エドヒガンザクラ)の開花予想を「[tenki.jp](http://tenki.jp)」にて公開しています。

【言葉の説明】

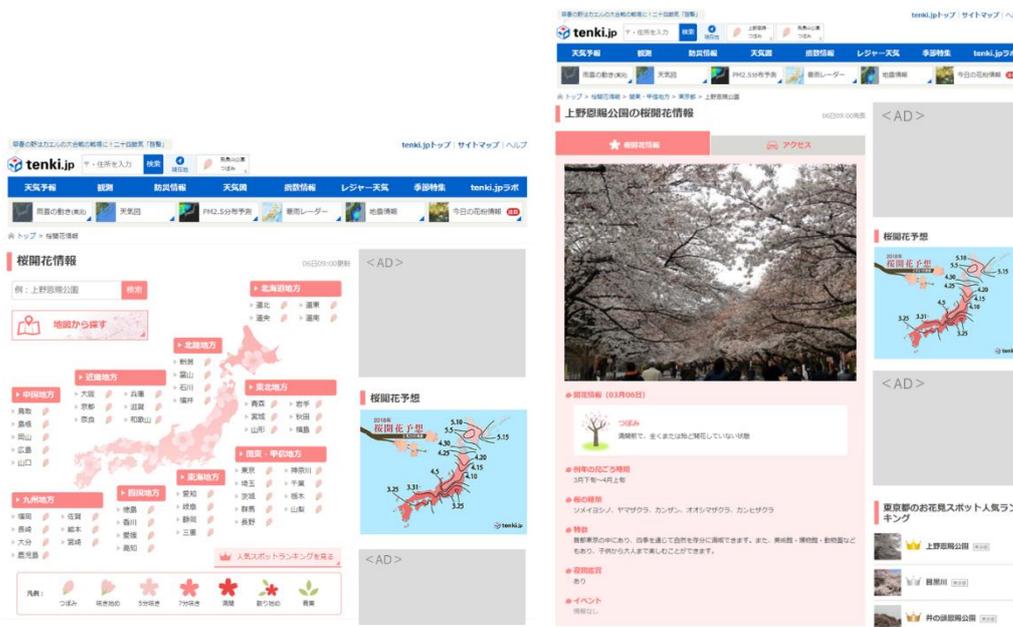
平年:1981~2010年の平均値



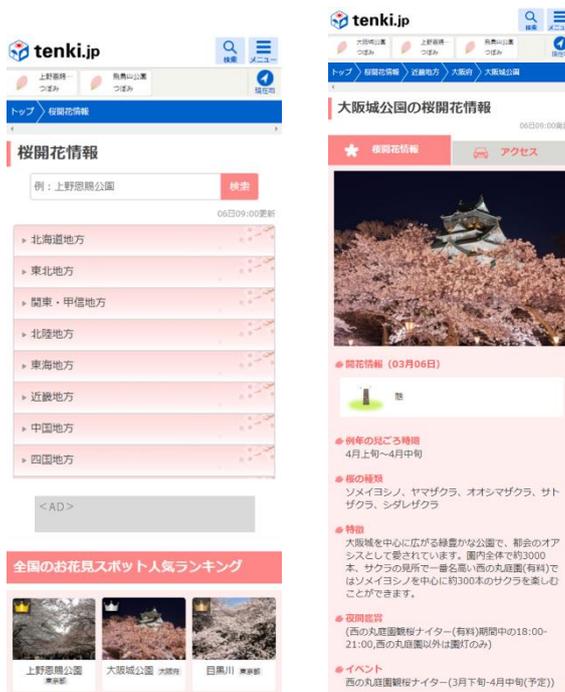
## 参考情報

日本気象協会が運営する天気予報専門メディア『tenki.jp』では2018年3月6日(火)から「桜開花情報」のページを公開しています。

今年は、キーワード検索や人気スポットランキングなどの機能を新たに追加し、お花見スポットの天気や桜開花状況を、より検索しやすくなりました。



パソコン版 画面イメージ



タブレット・スマートフォン版 画面イメージ